



平成27年11月号



概況

最近の県内経済は、持ち直している。

まず個人消費関連では、百貨店・スーパー販売は前年同月比横ばいとなった。自動車販売は、登録車、届出車合計で再びマイナスとなった。

住宅建設は、貸家、分譲住宅が全体を押し上げ、再び大幅プラスとなった。公共投資は、国、県、市町村が減少し、全体では3ヶ月ぶりにマイナスとなった。

生産関連では、鉱工業生産指数（季節調整値）は前月比0.6%増加の107.0と、2ヶ月連続のプラスとなった。

27年県産リンゴ販売は、県外出荷量、消費地市場価格ともに前年を上回り、県外市場販売額は前年比17.3%増となった。八戸港の水揚げは、数量、金額ともに減少した。

雇用情勢は、有効求人倍率が前月比で0.01ポイント上昇の0.96倍となり、昭和38年の集計開始以来最高となった。景気改善を背景に、雇用情勢の改善は継続している。

○個人消費 9月の**百貨店・スーパー販売額**(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比横ばいとなった。業態別では百貨店が同4.4%減、スーパーは同1.4%増となった。9月の**自動車販売台数**は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比7.3%減の5,392台と再びマイナスとなった。登録車が同1.0%減と再びマイナス、届出車は同13.9%減と再びマイナスとなった。

○住宅投資 9月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比26.0%増と大幅に増加し再びプラスとなった。持家が同8.0%増、貸家が同54.7%増、分譲住宅が同88.5%増となった。

○公共投資 9月の**公共工事請負額**は、全体で前年同月比22.8%減の172億9,800万円と、3ヶ月ぶりにマイナスとなった。独立行政法人等が同126.5%増となったものの、国が同40.3%減、県が同29.0%減、市町村が同18.9%減などとなった。

○一次産業 農林水産省東北農政局調査によると、27年産水稻の作柄(10月15日現在)は、南部・下北地帯が「良」、青森地帯、津軽地帯が「やや良」と見込まれている。

27年県産リンゴ販売は、県外出荷量が前年同月比11.8%増、消費地市場価格が同3.6%上昇し、県外市場販売額は同17.3%増となった。9月の**八戸港水揚げ**は、数量が前年同月比42.6%減、金額は同29.5%減となった。

○生産活動 8月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は、鉄鋼、パルプ・紙などが上昇し、前月比0.6%増加の107.0と2ヶ月連続のプラスとなった。原指数では鉄鋼、金属製品、輸送機械などが上昇し、前年同月比5.4%上昇の103.9と再びプラスとなった。

一 次 産 業

米

☆ 27年産米、作況指数は「105」

農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の平成27年産水稻の県平均作柄（10月15日現在）は、10aあたりの予想収量が616kg、作況指数は「105」と見込まれており、予想収量、作況指数ともに東北平均を上回っている。平年と比べると、穂数が「多い」、1穂当たりもみ数が「少ない」、全もみ数が「平年並み」、登熟が「やや良」と見込まれている。

作柄表示地帯別にみると、登熟は南部・下北地帯が「良」、青森地帯、津軽地帯がともに「やや良」と見込まれている。10aあたりの予想収量と作況指数をみると、青森地帯は600kgの「105」、津軽地帯が639kgの「105」、南部・下北地帯が569kgの「105」と、いずれも平年を上回る作柄が見込まれている。

27年産水稻の作柄概況(10月15日現在)

作柄表示地帯	作付面積(ha) (子実用)	予想収穫量(t) (子実用)	10a当たり (kg)		穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数 の多少	登熟の良否	③作況指数
			①予想収量	②平年収量					
県全体	43,500	268,000	616	566	多い	少ない	平年並み	やや良	105
青森地帯	-	-	600	550	やや多い	やや多い	平年並み	やや良	105
津軽地帯	-	-	639	589	多い	少ない	やや多い	やや良	105
南部・下北地帯	-	-	569	526	やや多い	少ない	やや少ない	良	105

注) 1 10a当たり予想収量①は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の数量である。

2 10a当たり平年収量②、作況指数③は、農家等が使用しているふるい目幅で選別されたもので、当該全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅(東北は1.85mm)以上に選別された玄米を基に整理した。

3 穂数の多少、もみ数、登熟の良否は平年比較。

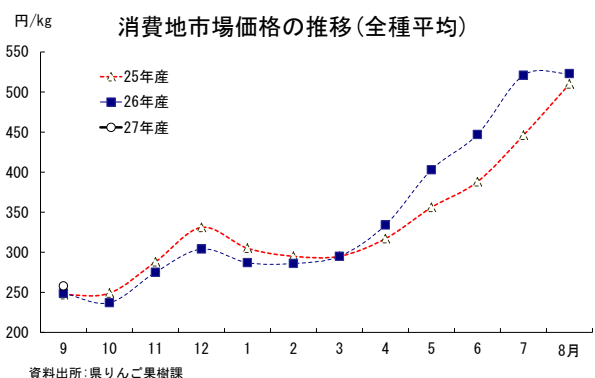
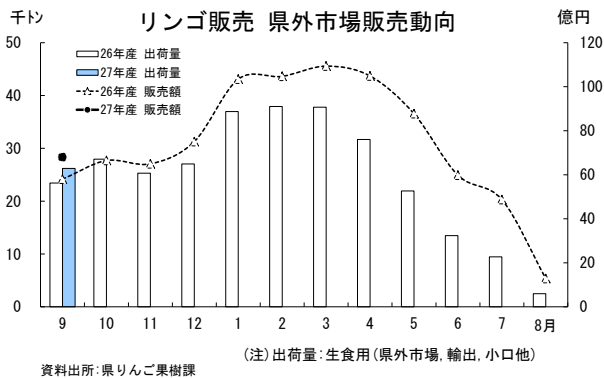
資料出所: 東北農政局

りんご

☆ 県外市場販売額、前年同月比 17.3%増

27年県産りんご販売、9月の県外出荷量は前年同月比11.8%増の26,192トンとなった。これは前3ヶ年の9月平均出荷量を34.7%上回る水準である価格面をみると、産地価格は前年同月比13.0%上昇、前3ヶ年比較では4.7%上昇の156円/kgとなった。一方、消費地市場価格は「早生ふじ」が前年同月比33.2%上昇の301円/kg、「つがる」が同2.8%上昇の256円/kg、合計では同3.6%上昇、前3ヶ年比較で同2.6%低下の265円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比17.3%増、前3ヶ年比較で36.3%増の67億9,900万円となった。

平成27年産県産りんご販売は、食味・品質が良かったことや競合果実の品薄により引き合いが強くなり、県外出荷量、県外市場販売額とも前年同月を上回り好調なスタートとなった。

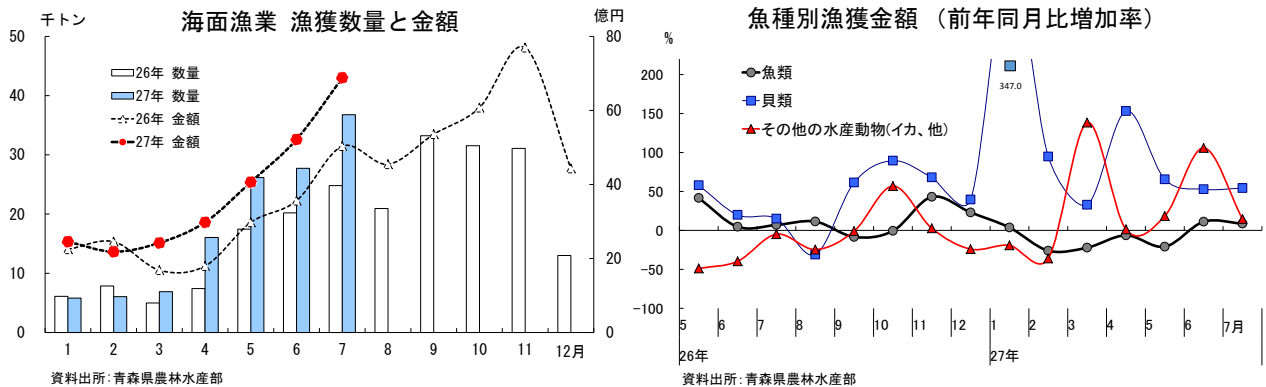


海面漁業

☆ 7月の海面漁業、漁獲数量、漁獲金額ともに大幅増加

7月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比 48.3%増の 3 万 6,785 トン、漁獲金額が同 36.7%増の 68 億 8,270 万円となった。これは前年同月に比べ、ホタテガイ（半成貝／成貝）、サバ、スルメイカ（近海・生）等の漁獲数量が増加したことによる。

魚種別にみると、「魚類」は、サバが大幅に増加したほか、マイワシ、ブリ、タラなどが増加し、数量が前年同月比 89.2%増の 9,540 トン、金額は同 8.7%増の 11 億 4,403 万円となった。「貝類」はホタテガイの水揚げが大幅に増加し、数量が同 38.2%増の 2 万 1,175 トン、金額は同 54.5%増の 38 億 1,653 万円となった。「その他の水産動物」はスルメイカの増加が全体を押し上げ、数量が同 18.4%増の 5,029 トン、金額は同 14.7%増の 16 億 2,357 万円となった。



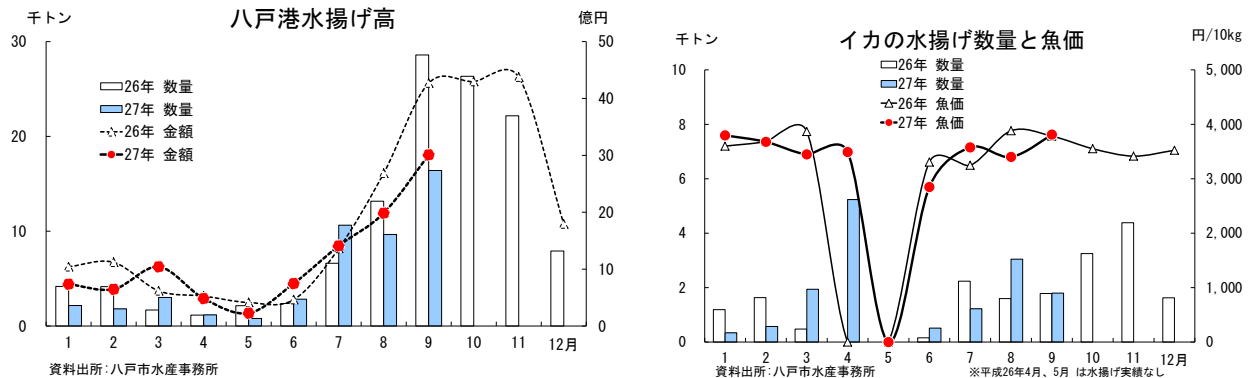
八戸港水揚げ

☆ 9月水揚げ、数量 42.6%減、金額 29.5%減

9月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比 42.6%減の 1 万 6,410 トン、金額は同 29.5%減の 30 億 1,011 万円となった。シケの影響から 9 月としては過去 10 年間で数量が最低、金額は 4 番目に低かった。

イカ釣り漁は、前沖での近海生スルメイカが減少したものの、船凍スルメイカが幾分増加し、数量、金額とも前年実績をやや上回った。数量は前年同月比 0.8%増の 1,800 トン、金額は同 1.5%増の 6 億 8,599 万円となった。大中型旋網漁は、シケによる休漁が続き数量が同 54.6%減の 1 万 200 トン、金額が同 49.9%減の 12 億 6,584 万円と低調だった。機船底引き網漁は、前沖スルメイカ漁を主体に操業したがシケの日が多く、数量が前年同月比 9.0%減の 3,283 トン、金額が同 24.5%減の 6 億 7,787 万円となった。

水揚げ累計（1～9 月）は、数量が前年同期比 24.3%減の 4 万 8,525 トン、金額は同 17.7%減の 102 億 9,219 万円となった。



二次産業

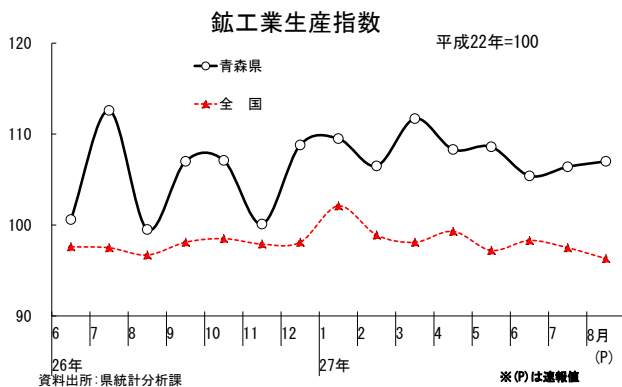
鉱工業生産

☆前月比 0.6%増加、2ヶ月連続のプラス

8月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成22年=100)は前月比0.6%増加の107.0と、2ヶ月連続のプラスとなった。主要6業種をみると、業務用機械が同6.2%、電子部品・デバイスが同4.8%、電気機械が同1.8%、食料品が同1.0%低下したものの、鉄鋼が同8.3%、パルプ・紙が同1.6%上昇した。

このほかでは、金属製品が同23.8%、化学が同14.5%、非鉄金属が同6.8%それぞれ上昇した。

原指数で前年同月と比較すると、電子部品・デバイス、業務用機械、食料品などが低下したものの、鉄鋼、金属製品、輸送機械など上昇し、同5.4%上昇の103.9と再びプラスとなった。



業種別生産指数(平成27年8月)

業種 ()内は一万分比ウェート	季節調整済指数		原指数	
	平成22年=100	前月比(%)	平成22年=100	前年同月比(%)
鉱工業 (10,000.0)	107.0	0.6	103.9	5.4
食料品 (2,410.0)	101.8	△1.0	97.7	△1.6
鉄鋼 (1,200.9)	117.9	8.3	116.5	31.0
電子部品・デバイス (1,048.2)	138.3	△4.8	136.4	△8.1
業務用機械 (1,005.1)	90.3	△6.2	84.5	△1.3
パルプ・紙 (722.3)	91.1	1.6	93.1	△2.6
電気機械 (429.2)	116.3	△1.8	115.9	5.7

資料出所: 県統計分析課

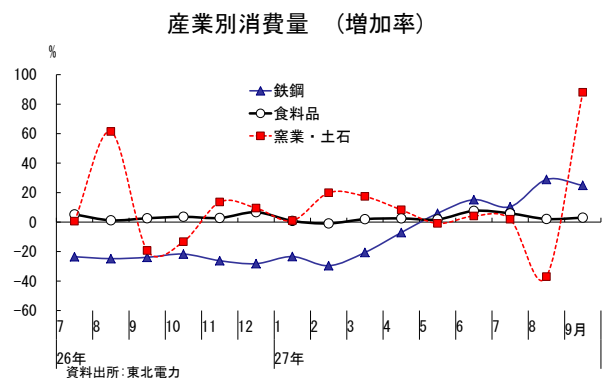
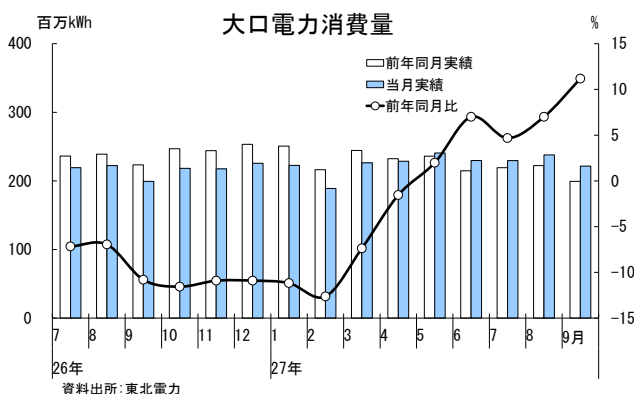
大口電力

☆前年同月比 11.2%増、5ヶ月連続のプラス

9月の県内大口電力消費量は、前年同月比11.2%増の2億2,156万kWhとなった。うち製造業は同17.3%増の1億6,342万kWhとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、消費ウェートの高い鉄鋼が同24.9%増と大幅に増加したほか、窯業・土石が同88.0%増、化学が同16.3%増、紙・パルプが同5.0%増、食料品が同3.0%増、非鉄金属が同0.7%増などとなった。一方、機械は同2.9%減となった。

当月の県内大口電力消費量は、製造業で、消費ウェートの高い鉄鋼が、前年の定期補修等に伴う生産設備の稼働減からの反動増等がみられたほか、鉄鋼、窯業・土石などが前年実績を上回り、全体では5ヶ月連続のプラスとなった。



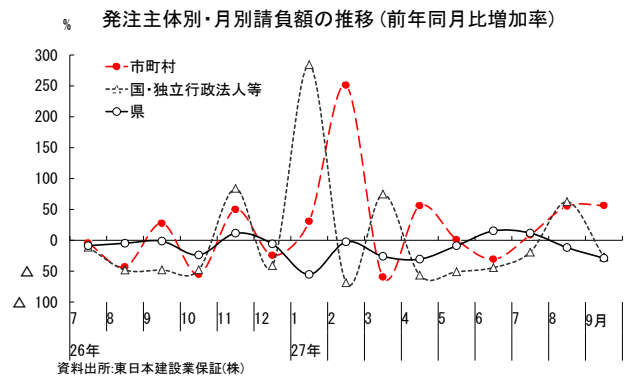
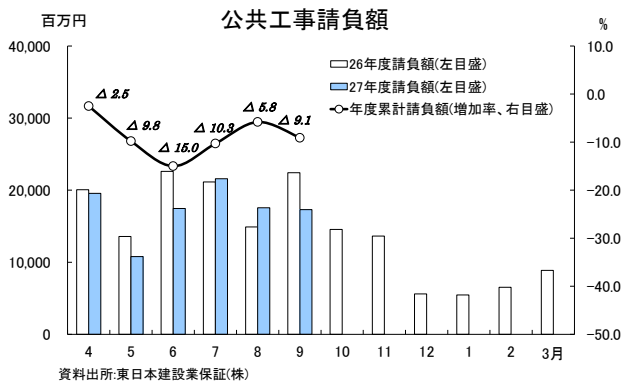
公共工事

☆前年同月比 22.8%減、3ヶ月ぶりにマイナス

9月の東日本建設業保証（株）の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 22.8%減の 172 億 9,800 万円と、3ヶ月ぶりにマイナスとなった。

当月の請負額は、国が全体的に減少し、同 40.3%減の 16 億 100 万円となった。独立行政法人等はそのほかで増加し、同 126.5%増の 5 億 2,000 万円となった。県は、農林水産部、県土整備部などで減少し、同 29.0%減の 89 億 600 万円となった。市町村は六ヶ所村、三沢市、八戸市などで増加したものの、五所川原市、弘前市、青森市、平川市などで減少し、同 18.9%減の 48 億 6,200 万円となった。

当月は独立行政法人等が増加したものの、国、県、市町村が減少し、全体では前年同月を下回った。



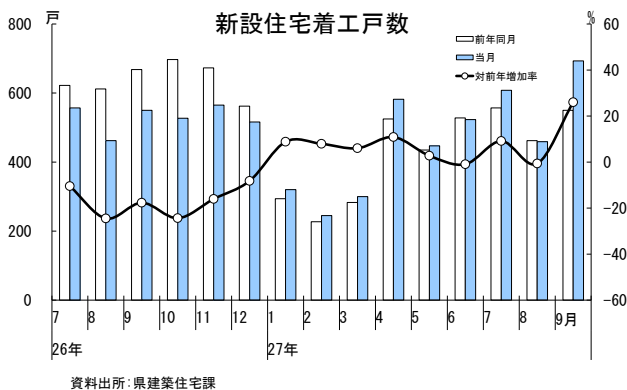
住宅着工

☆貸家、分譲住宅が全体を押し上げる

9月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 26.0%増の 693 戸と大幅に増加し再びプラスとなった。利用関係別では、持家が同 8.0%増、貸家が同 54.7%増、分譲住宅が同 88.5%増となった。

地域別にみると、全体では、五所川原市、十和田市、三沢市、つがる市、平川市で減少したものの、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、むつ市、郡部で増加した。

持家は、平川市、五所川原市などで減少したものの、青森市、八戸市、郡部などで増加した。貸家は、十和田市、三沢市などで減少したものの、青森市で大幅に増加したほか、八戸市、弘前市、黒石市などで増加した。年間新設住宅着工累計(1~9月)は、前年同期比 8.2% (316 戸) 増の 4,177 戸と、前年実績を上回る状況となっている。



利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	27年 9月	26年 9月	前年 同月比
持家	392	363	8.0
貸家	249	161	54.7
給与住宅	3	0	-
分譲住宅	49	26	88.5
総戸数	693	550	26.0

資料出所: 県建築住宅課

三 次 産 業

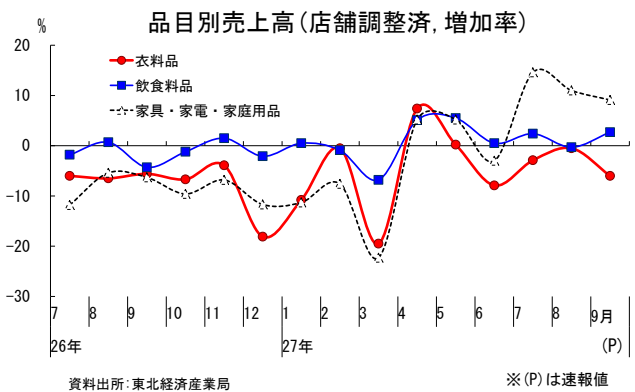
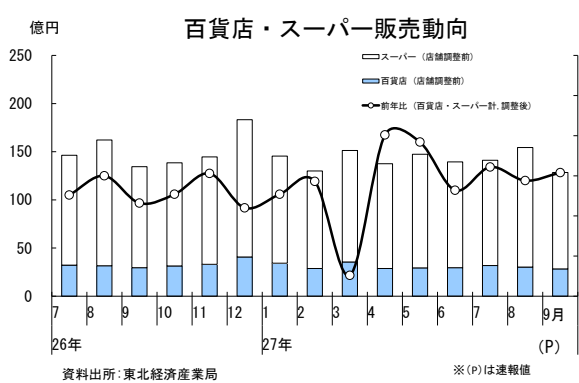
百貨店・スーパー販売

☆前年同月比横ばい、百貨店減、スーパー増

9月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比横ばいとなった。業態別では百貨店が同4.4%減、スーパーが同1.4%増となった。

品目別では、衣料品が同6.0%減、ウエートの高い飲食料品が同2.7%増、家具・家電・家庭用品が同9.1%増となった。衣料品は、平均気温が下がり、秋物商品への需要が高まったものの、買い上げ点数が伸びず全般に盛り上がりを欠いた。食料品は、惣菜、精肉、鮮魚、野菜のそれぞれに動きがみられ前年を上回った。家具・家電・家庭用品は、家電製品で、住宅の新築増の影響などから冷蔵庫などの白物家電が売上を伸ばしたほか、家具類や身の回り品も堅調だった。

当月は、気温の低下から秋物に動きがあったものの、シルバーウィークが好天続きで行楽地へ客足が流れ、結果として前年同月比横ばいとなった。

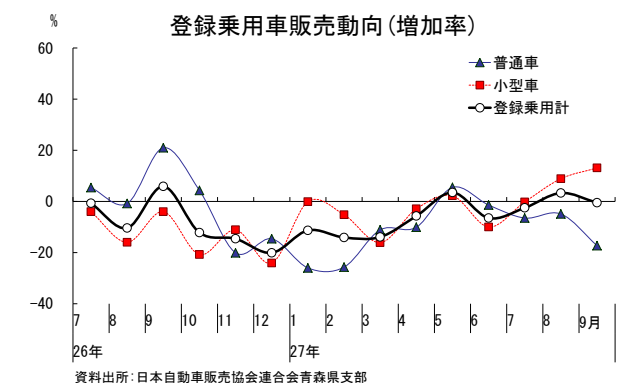
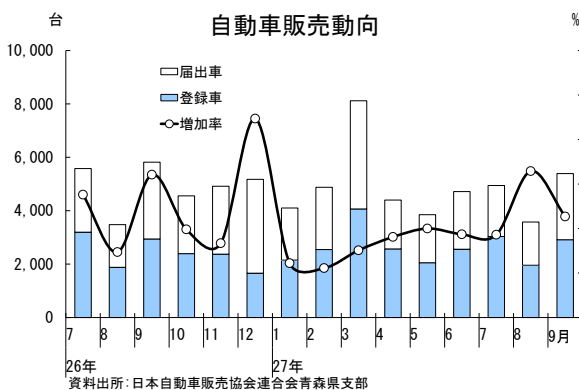


自動車販売

☆前年同月比7.3%減、再びマイナス

9月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比7.3%減の5,392台と再びマイナスとなった。内訳別にみると、登録車は普通乗用車が同17.3%減、小型乗用車が同13.1%増、貨物車が同7.7%減となり、登録車合計では同1.0%減の2,913台と再びマイナスとなった。届出車は乗用車が同16.4%減、貨物車が同4.7%減となり、届出車合計では同13.9%減の2,479台と再びマイナスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同0.5%減、届出乗用車(軽乗用車)が同16.4%減となり、全体では同8.3%減と再びマイナスとなった。

当月の自動車販売は、普通乗用車や届出乗用車が大幅に減少したことから全体では再びマイナスとなった。



物価・雇用・金融

消費者物価指数

☆前月比 0.2%上昇、前年同月比 0.3%下落の 103.7

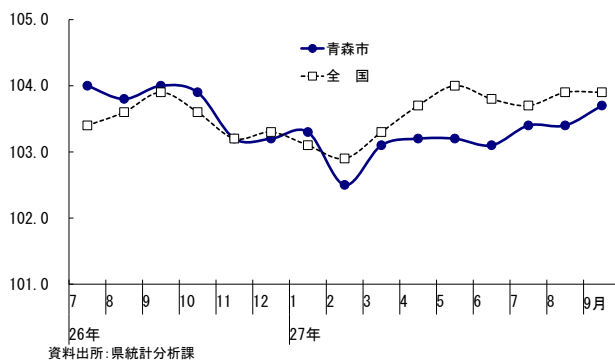
9月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比0.2%上昇、前年同月比0.3%下落の103.7となった。主要費目別に前月と比べると、「食料」が生鮮魚介の値上がりにより0.9%上昇したほか、「被服及び履物」がシャツ・セーター・下着類の値上がりにより5.9%上昇した。

一方、「光熱・水道」が電気代の値下がりなどにより1.6%下落したほか、「交通・通信」がガソリン代の値下がりなどにより1.4%下落した。

前年同月との比較では、「光熱・水道」(△10.9%)、「交通・通信」(△2.3%)などの下落が目立った。

なお「生鮮食品を除く総合指数」は、前月比0.1%上昇、前年同月比0.5%下落の102.7となった。

消費者物価指数(平成22年=100)



費目別指数の動き(平成27年9月)

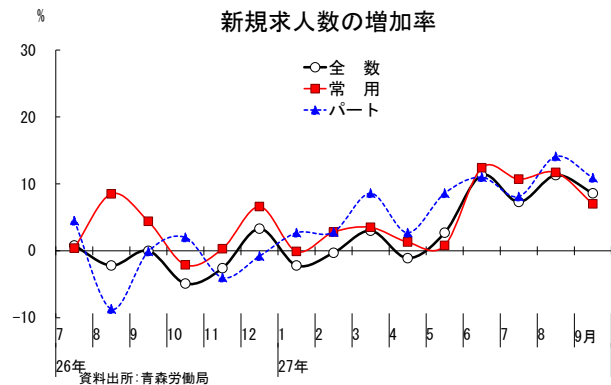
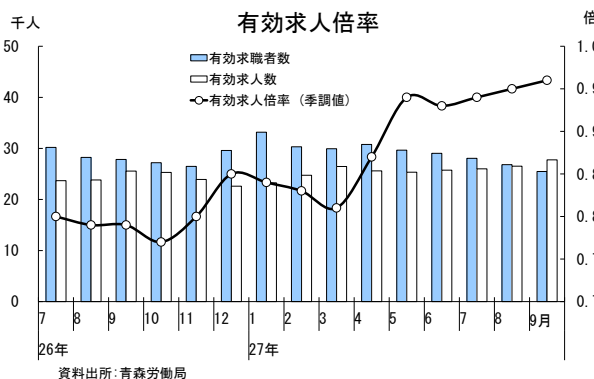
	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	103.7	0.2	△ 0.3
食料	106.8	0.9	2.0
住居	100.1	0.1	0.8
光熱・水道	108.4	△ 1.6	△ 10.9
家具・家事用品	91.8	1.2	3.4
被服及び履物	103.7	5.9	△ 0.6
保健医療	101.0	△ 0.1	2.4
交通・通信	103.6	△ 1.4	△ 2.3
教育	100.9	0.0	0.9
教養娯楽	100.7	1.0	2.9
諸雑費	109.7	0.0	0.7

雇用動向

☆有効求人倍率、0.96倍、過去最高

9月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比8.6%増の2万7,764人、有効求職者数は同8.5%減の2万5,482人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.01ポイント上昇の0.96倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比0.6%増、臨時・季節求人数が同11.8%増、パート求人数が同9.5%増となり、全数では同5.3%増の1万883人となった。主要産業別の新規求人動向を前年同月比で見ると、サービス業、製造業などで減少したものの、卸売・小売業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業などで増加した。

県内の雇用状況は、有効求人倍率が先月比でやや上昇し、昭和38年の集計開始以来最高となった。県内景気の改善を背景に、雇用情勢の改善は続いている。

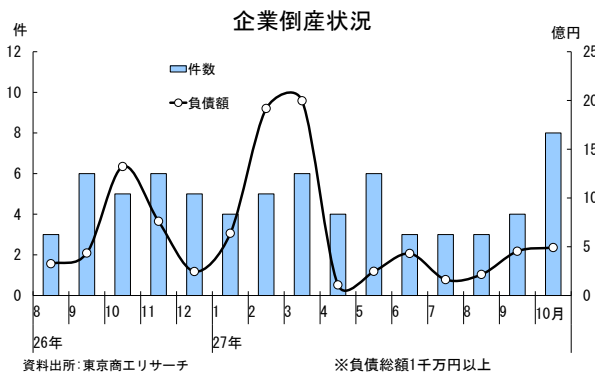


企業倒産

☆負債総額、前年同月比 8 億 3,100 万円減の 4 億 9,100 万円

10月の県内企業倒産は、件数が前年同月比で3件増の8件、負債総額は同8億3,100万円減の4億9,100万円となった。前月比では件数が4件増、負債総額は3,800万円増となった。業種別では、卸売業と小売業が各2件、一次産業・鉱業と建設業が各1件、サービス業他が2件となった。地域別では、青森市3件、弘前市2件、八戸市、黒石市、北津軽郡にて各1件の発生となった。原因別では、販売不振が3件、過小資本と既往のシワ寄せが各1件、その他が3件となった。

県内の企業倒産件数は、引き続き一桁台となったものの、今年に入って最高となった。負債総額は、小規模倒産が大部分を占め、先月比では若干の増加となったものの、大型倒産が発生した前年同月比では大幅減となった。



業種別・原因別件数（平成27年10月）

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業	1	放漫経営	
建設業	1	過小資本	1
製造業		他社倒産の余波	
卸売業	2	既往のシワ寄せ	1
小売業	2	信用低下	
金融・保険業		販売不振	3
不動産業		売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他	2	その他	3
合計	8	合計	8

資料出所：東京商工リサーチ（負債総額1千万円以上）

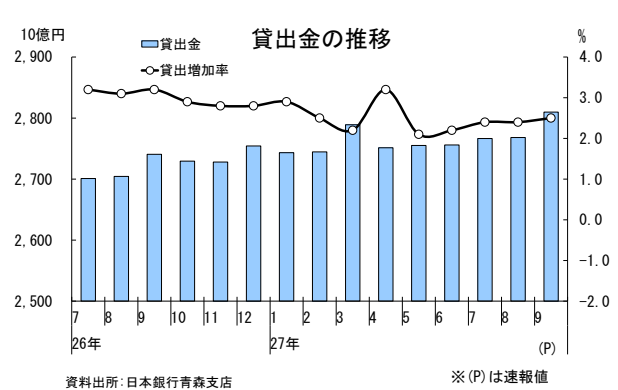
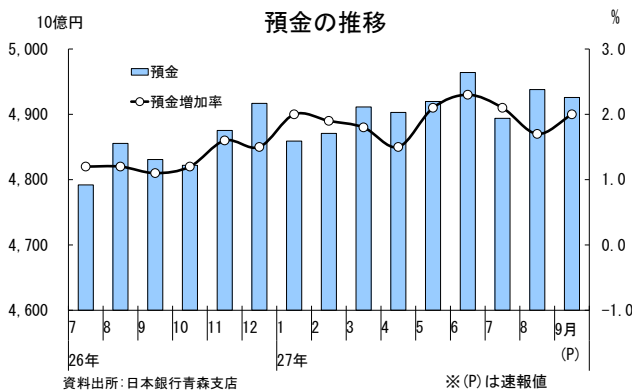
金融動向

☆預金、貸出金とも 29 ヶ月連続のプラス

9月末の県内金融機関（銀行・信用金庫・信用組合）の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比2.0%増の4兆9,258億円、貸出金は同2.5%増の2兆8,098億円とそれぞれ増加した。

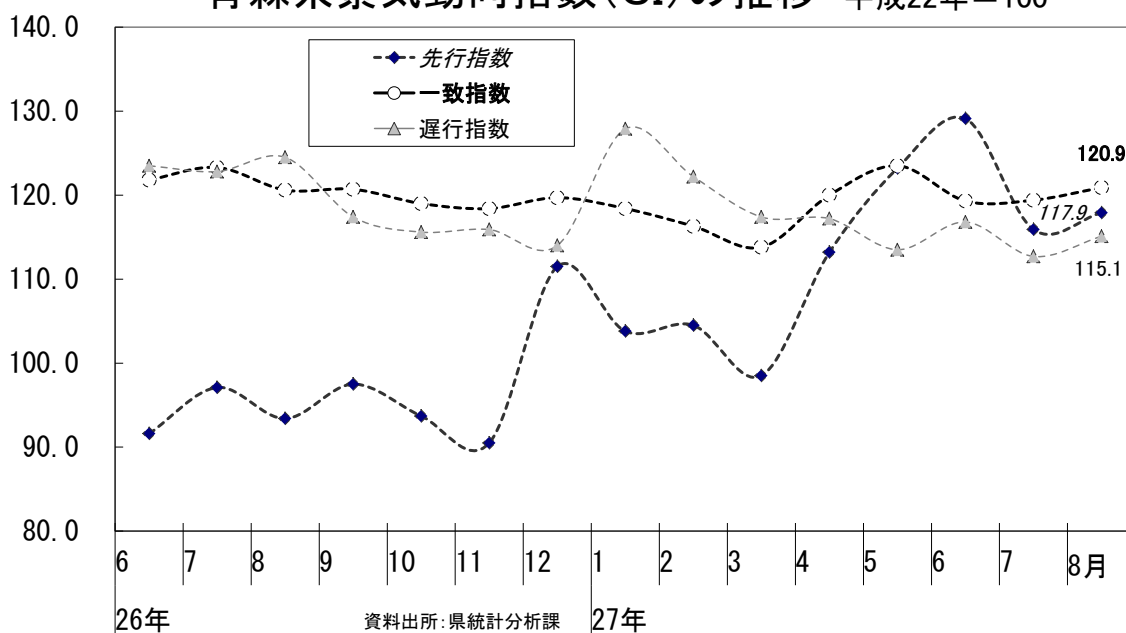
預金は法人預金、個人預金、公金預金のいずれもが前年を上回った。預金全体のプラス幅は前月比0.3ポイント増加し、29ヶ月連続のプラスとなった。

一方、貸出金は法人向けが前年を下回ったものの、個人、地公体向けが前年を上回った。貸出金全体のプラス幅は前月比0.1ポイント増加し、29ヶ月連続のプラスとなった。



青森県景気動向指数

青森県景気動向指数(CI)の推移 平成22年=100



一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを○、マイナスを●で表示
下段: 寄与度

採用系列名	27年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
1. 大型小売店販売額(既存店)	● △ 2.64	○ 3.70	● △ 0.39	● △ 2.16	○ 0.95	● △ 0.64
2. 旅行取扱高	● △ 1.43	○ 1.35	● △ 0.50	● 0.11	● △ 1.15	○ 0.41
3. 鉱工業生産指数	○ 1.41	● △ 0.95	○ 0.08	● △ 0.96	○ 0.29	○ 0.17
4. 大口電力使用量	○ 1.69	○ 1.46	○ 1.33	○ 0.13	● △ 0.90	○ 1.07
5. 有効求人倍率(全数)	● △ 1.83	○ 3.34	○ 2.63	● △ 1.33	○ 0.06	○ 0.05
6. 輸入通関実績(八戸港)	○ 0.45	● △ 0.96	○ 0.38	○ 0.02	○ 0.17	○ 0.12
7. 東北自動車道IC利用台数	● △ 0.24	● △ 1.70	○ 0.01	○ 0.13	○ 0.48	○ 0.38

資料出所: 県統計分析課

※ 景気動向指数 (C I : Composite Index) とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。C Iには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. C Iは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。C Iが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

国内景気

☆概況

国内景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。個人消費は総じてみれば底堅い動き。住宅建設は持ち直している。設備投資は、総じて持ち直しの動きがみられる。輸出、輸入ともに、このところ弱含んでいる。生産は、このところ弱含んでいる。企業収益は改善。雇用情勢は改善傾向。消費者物価は緩やかに上昇。国内企業物価は緩やかに下落している。

☆百貨店・スーパーの動向（既存店ベース）

—前年同月比 1.7%増—

9月の百貨店・スーパー販売額は前年同月比 1.7%増と3ヶ月連続のプラスとなった。業態別にみると、百貨店が同 1.9%増、スーパーが同 1.6%増となった。商品別にみると、衣料品が同 0.5%減、飲食料品が同 2.3%増、その他商品が同 2.5%増となった。

☆住宅建設

—7ヶ月連続のプラス—

9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 2.6%増の 7万 7,872 戸と 7ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別にみると、持家が同 2.4%増、貸家が同 13.3%増とそれぞれ 5ヶ月連続で増加した一方、分譲住宅は同 10.1%減と再び減少した。

☆企業倒産

—件数6ヶ月連続減少、負債総額5ヶ月ぶり増加—

9月の企業倒産は、件数が前年同月比 18.6%減の 673 件、負債総額は同 98.0%増の 2,709 億円となった。倒産件数は 6ヶ月連続で減少、負債総額は 5ヶ月ぶりに増加した。9月としては、件数が 25年ぶりの 700 件割れとなった一方、負債総額は 4年ぶりに 2,000 億円を上回った。

☆為替動向

—10月末終値 120 円 73 銭—

10月の東京為替市場は前月末から続落 120 円台前半でスタート。上旬は 120 円を挟む展開となった。中旬は米利上げ観測の後退などから一時 118 円 10 銭まで円高が進むも、日経平均株価の大幅上昇などから 120 円台前半まで円が売られた。下旬は中国人民銀行の追加金融緩和などから 121 円台前半まで円安が進むも、米長期金利の低下などから円が買われた。月末終値は 120 円 73 銭。

☆鉱工業生産指数

—前月比 1.0%上昇—

9月の鉱工業生産指数は前月比 1.0%上昇の 97.3(季節調整値)と 3ヶ月ぶりに上昇した。化学(除、医薬品)、電子部品・デバイス、電気機械等が上昇し、はん用・生産用・業務用機械、窯業・土石、プラスチック製品等が低下した。10月は、はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、電気機械等の上昇により前月比 4.1%の上昇を予測。

☆新車販売（除く軽自動車）

—再びプラス、前年同月比 0.2%増—

10月の国内新車販売は前年同月比 0.2%増の 24 万 889 台と再びプラスとなった。乗用車が同水準、貨物車は同 1.1%増となった。乗用車は普通乗用車が同 1.8%減と 4ヶ月連続のマイナス、小型乗用車は同 1.7%増と 3ヶ月連続のプラスとなった。

☆完全失業率

—前月比横ばいの 3.4% —

9月の完全失業率は前月比横ばいの 3.4%となった。完全失業者数は前年同月比 6 万人減の 227 万人となり、64ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、自己都合が 2 万人減の 94 万人、勤め先や事業の都合が同 5 万人減の 41 万人などとなった。

☆消費者物価指数

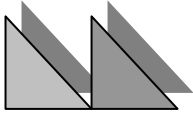
—前月比 0.1%上昇の 103.9—

9月の全国消費者物価指数(2010年=100)は前月比 0.1%上昇、前年同月と同水準の 103.9 となった。前月に比べ、被服及び履物、食料などが上昇した。生鮮食品を除く総合指数は、前月と同水準、前年同月比 0.1%下落の 103.4 となった。

☆国際収支

—経常収支、15ヶ月連続で黒字—

9月の経常収支額は 1 兆 4,684 億円と 15ヶ月連続で黒字となった。前年同月比では黒字幅が拡大した。第一次所得収支が黒字幅を縮小したものの、貿易・サービス収支が黒字転化し、経常収支は黒字幅が拡大した。内訳は、第一次所得収支が 1 兆 6,694 億円の黒字、貿易・サービス収支が 371 億円の黒字、第二次所得収支が 2,380 億円の赤字となった。



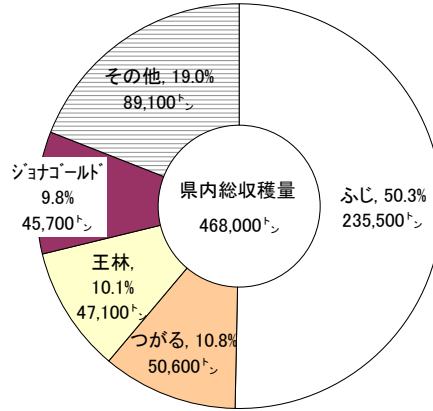
今月の統計

平成26年産 青森県産リンゴの概況

農 林水産省の調べによると、平成26年産の全国のリンゴ収穫量は、前年産比 10.1%増の 81 万 6,300 トンと増加した。青森県産リンゴの収穫量は同 13.6%増の 46 万 8,000 トンとなり、全国の 57.3%を占めた。同年産の青森県産リンゴは天候に恵まれて開花が早く肥大も進み、着果量、結果量ともに多く、加えて大きな災害や病虫害の発生もなく、収穫量が前年を上回る豊作となった。

青森県産リンゴの収穫量を品種別にみると、「ふじ」が 23 万 5,500 トン(50.3%)と最も多く、次いで「つがる」が 5 万 600 トン(10.8%)、「王林」が 4 万 7,100 トン(10.1%)、「ジョナゴールド」が 4 万 5,700 トン(9.8%)などの順となった。

平成26年産 青森県産リンゴの収穫量内訳

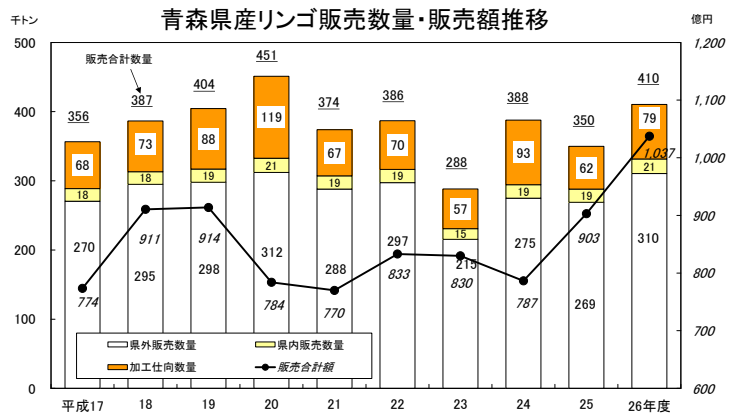


資料出所：農林水産省農林水産統計

平 成 26 年産の県産リンゴの販売実績(平成 26 年 9 月～ 27 年 8 月)をみると、販売合計数量は前年度比 17.3%増の 41 万 445 トンとなった。うち県外販売数量は同 15.4%増の 31 万 493 トン、県内販売数量は同 11.0%増の 2 万 1,188 トン、加工仕向数量は同 24.7%増の 7 万 8,764 トンと、それぞれ前年度を上回った。

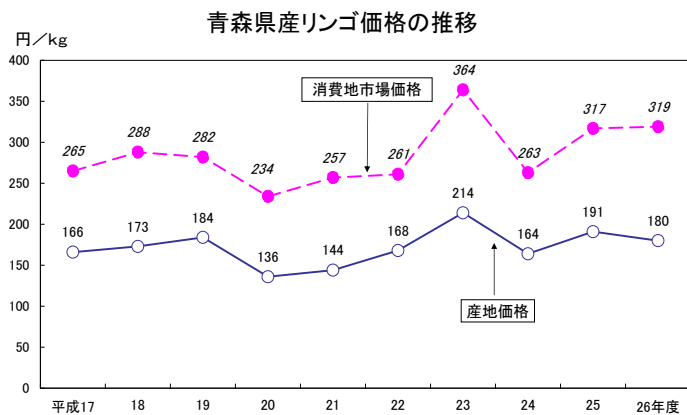
価格面をみると、全種平均産地価格が前年度比 5.8%低下の 180 円/kg、消費地市場価格は同 0.6%上昇の 319 円/kg となった。26 年産は、前年産に比べ収穫量が多かったものの、食味・品質が良好で引き合いが強く高値が続いた。

その結果、販売合計金額は同 14.9%増の 1,037 億 49 百万円と前年産を上回った。1,000 億円を超えたのは平成 10 年産の 1,047 億円以降 16 年ぶりである。



資料出所：青森県農林水産部りんご果樹課

※四捨五入のため数量合計は内訳と一致しない場合がある。



資料出所：青森県農林水産部りんご果樹課

県内

5日 「B-1グランプリ in 十和田」の来場者数、33万4,000人

十和田市で開催されたご当地グルメによるまちおこしの祭典、「第10回 B-1グランプリ in 十和田」が2日間の日程を終えて閉会した。主催者発表によると2日間の来場者数は33万4,000人となった。1位のゴールドグランプリは千葉県勝浦市の「熱血！！勝浦タンタンメン船団」が受賞した。

下北地域の5市町村、「下北圏域定住自立圏」協定締結

下北地域の5市町村(むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村)は、むつ市を中心市とし、圏域全体で連携して都市機能や生活機能などの確保に取り組む下北圏域定住自立圏形成協定を締結した。

10日 「青天の霹靂」、好スタート

日本穀物検定協会から県産米として初の最高評価「特A」を取得した新品種「青天の霹靂」が、県内で一斉に発売された。各地のスーパーや米穀店には開店前から行列ができ、一部の店舗では午前中に売り切れになるなど、ブランド米としての地位確立に向け好スタートを切った。

20日 モンゴルフェンシング協会、今別町で強化合宿へ

今別町とモンゴルフェンシング協会は、平成32年の東京五輪に向け同町で強化合宿を行う基本合意書に調印した。東京五輪の事前合宿地が決定したのは、全国で5ヶ所目、東北・北海道で初めてとなる。

平成27年産米、1等米比率93.9%

東北農政局青森支局が発表した平成27年産米の検査結果(9月末現在、速報値)によると、粒の形状や色つきなどの品質が一定基準を満たした1等米比率は、水稻うるち玄米で93.9%となり、前年同期(88.0%)を5.9ポイント上回った。

30日 9月の有効求人倍率、過去最高の0.96倍

青森労働局の発表によると、県内の9月の有効求人倍率(季節調整値)は昭和38年の統計開始以来最高の0.96倍となった。

国内

5日 大村智・北里大学特別栄誉教授、ノーベル生理学・医学賞受賞

スウェーデンのカロリンスカ研究所は、平成27年のノーベル生理学・医学賞を、寄生虫による熱帯病の治療薬の開発に貢献した北里大学の大村智特別栄誉教授ら3名に授与すると発表した。

TPP、大筋合意

環太平洋経済連携協定(TPP)交渉に参加する日米など12カ国は、閣僚会合後の共同記者会見で大筋合意したと発表した。

6日 梶田隆章・東京大学宇宙線研究所長、ノーベル物理学賞受賞

スウェーデン王立科学アカデミーは、平成27年のノーベル物理学賞を、素粒子「ニュートリノ」に質量があることを初めて確認した梶田隆章・東京大学宇宙線研究所長ら2名に授与すると発表した。

14日 10月の月例報告、景気の基調判断を1年ぶりに引き下げ

内閣府は10月の月例経済報告で、景気の基調判断を「このところ一部に弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている」とし、1年ぶりに引き下げた。

16日 平成27年産新米取引価格、前年同月比5.6%上昇

農林水産省は平成27年産米の出荷業者と卸売業者の相対取引価格が、9月平均で前年同月比5.6%上昇の60㌦当たり1万3,178円となったと発表した。

21日 平成27年度上半期の貿易赤字、前年同期比76.0%減

財務省が発表した平成27年度上半期(4月～9月)の貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支の赤字額は、前年同期比76.0%減の1兆3,086億円となった。

全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2010年=100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	百貨店・スー パー販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2009 (H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	86.5	788,410		197,758
2010 (H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	100.0	813,126		195,791
2011 (H23)	792,805	598,688	425,858	1.452	12,734	35,929	97.2	834,117		195,933
2012 (H24)	809,455	613,690	433,824	1.364	12,124	38,346	97.8	882,797	128,456	195,916
2013 (H25)	835,998	640,633	449,134	1.258	10,855	27,823	97.0	980,025	150,536	197,774
2014 (H26)	866,132	660,844	461,147	1.180	9,731	18,741	99.0	892,261	165,257	201,973
2014 (H26) 7	863,217	644,584	449,331	1.219	882	1,295	97.5	72,880	15,774	17,177
8	864,799	646,162	450,387	1.214	727	1,358	96.7	73,771	13,974	16,266
9	862,960	652,873	454,907	1.202	827	1,368	98.1	75,882	15,921	15,313
10	865,271	646,936	453,499	1.198	800	1,241	98.5	79,171	14,688	16,065
11	870,990	656,658	456,260	1.195	736	1,155	97.9	78,364	10,689	17,286
12	901,074	660,844	461,147	1.180	686	1,783	98.1	76,416	12,488	21,558
2015 (H27) 1	901,357	658,252	458,485	1.179	721	1,681	102.1	67,713	8,722	17,215
2	886,755	661,723	459,627	1.173	692	1,512	98.9	67,552	9,940	14,986
3	892,520	676,336	465,464	1.158	859	2,236	98.1	69,887	20,662	17,150
4	895,381	673,889	460,756	1.157	748	1,928	99.3	75,617	7,535	16,080
5	899,665	678,655	462,447	1.153	724	1,278	97.2	71,720	7,278	16,928
6	896,714	678,820	464,740	1.141	824	1,269	98.3	88,118	15,503	16,412
7	906,796	674,054	465,907	1.137	787	1,201	97.5	78,263	14,321	17,057
8	910,354	673,470	465,905	1.135	632	979	96.3	80,255	13,760	16,057
9	913,980				673	2,709	97.3	77,872	15,225	15,114
前月比 %	0.4	-0.1	-0.0	-0.002% イント	6.5	176.7	1.0	-3.0	10.6	0.4
前年同月比%	5.9	4.2	3.4	-0.079% イント	-18.6	98.0	-0.9	2.6	-4.4	1.7
資料出所	日本銀行			東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省	経済産業省		

※企業倒産は負債額1千万円以上

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※百貨店・スーパー販売額(2015.7大型小売店販売額を名称変更)の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年=100	消費者 物価指数 2010年=100	景気動向 指数 (一致) 2010年=100	完全 失業率 (季節済) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年々末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月々平均) (円/US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年=100)
2009 (H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	135,925	1,049,397	93.61	153,228
2010 (H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	193,828	1,096,185	87.75	168,232
2011 (H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.6	8,455.35	104,013	1,295,841	79.76	165,195
2012 (H24)	4,572	100.6	99.7	-	4.3	10,395.18	47,640	1,268,125	79.79	169,679
2013 (H25)	4,562	101.9	100.0	-	4.0	16,291.31	39,317	1,266,815	97.71	188,334
2014 (H26)	4,699	105.1	102.8	-	3.6	17,450.77	26,458	1,260,548	105.79	183,036
2014 (H26) 7	391	106.6	103.4	112.1	3.8	15,620.77	4,036	1,276,027	101.72	187,984
8	281	106.5	103.7	110.9	3.5	15,424.59	2,494	1,278,011	102.96	187,760
9	432	106.4	103.9	112.3	3.6	16,173.52	9,780	1,264,405	107.09	186,677
10	328	105.5	103.6	112.4	3.5	16,413.76	8,464	1,265,925	108.06	185,780
11	340	105.2	103.2	111.8	3.5	17,459.85	4,402	1,269,079	116.22	186,985
12	360	104.7	103.3	112.8	3.4	17,450.77	2,259	1,260,548	119.40	183,036
2015 (H27) 1	344	103.3	103.1	114.8	3.6	17,674.39	1,018	1,261,103	118.24	176,003
2	413	103.3	102.9	112.7	3.5	18,797.94	14,957	1,251,112	118.57	177,430
3	587	103.5	103.3	111.1	3.4	19,206.99	28,203	1,245,316	120.39	175,260
4	263	103.6	103.7	113.8	3.3	19,520.01	13,362	1,250,073	119.55	177,106
5	279	103.8	104.0	112.0	3.3	20,563.15	18,660	1,245,755	120.74	178,137
6	365	103.6	103.8	113.3	3.4	20,235.73	5,615	1,242,935	123.75	176,769
7	356	103.3	103.7	113.1	3.3	20,585.24	P 18,086	1,242,316	123.23	174,461
8	271	102.7	103.9	112.2	3.4	18,890.48	P 16,531	1,244,150	123.23	169,466
9	400	P 102.2	103.9	P 111.9	3.4	17,388.15	P 14,684	1,248,936	120.22	166,020
前月比%	47.3	-0.5	0.1	-0.3% イント	0.0% イント	-8.0	-	0.4	-2.4	-2.0
前年同月比%	-7.4	-3.9	0.0	-	-0.2% イント	7.5	50.1	-1.2	12.3	-11.1
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省	日本銀行	日経新聞社	

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超 額(億円)	県内金融機関		企業倒産(負債額1千万円以上)		毎月勤労統計調査	
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)	現金給与総額 (円)	総実労働時間 (時間)
2009 (H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	254,409	154.2
2010 (H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	259,231	154.6
2011 (H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	254,469	154.8
2012 (H24)	1,361,053	-5,311	-1,287	47,633	26,780	57	52,781	253,142	155.0
2013 (H25)	1,347,650	-5,924	-1,762	48,252	27,298	53	11,199	257,302	154.4
2014 (H26)	1,333,729	-6,269	-1,957	49,114	27,890	66	9,485		
2014 (H26) 7	1,323,719	-81	-109	47,919	27,010	6	930	264,961	159.2
8	1,323,182	-189	-194	48,556	27,045	3	325	225,120	151.4
9	1,322,461	37	-52	48,309	27,407	6	435	226,444	155.9
10	1,321,895	-44	-299	48,219	27,295	5	1,322	220,790	157.8
11	1,321,130	-72	-189	48,753	27,280	6	760	221,752	154.9
12	1,320,329	-187	-662	49,168	27,543	5	245	412,640	154.0
2015 (H27) 1	1,319,297	-166	216	48,591	27,432	4	637	235,821	146.7
2	1,318,059	-419	-100	48,708	27,446	5	1,917	218,323	152.1
3	1,316,886	-5,353	-158	49,114	27,890	6	1,996	227,174	154.7
4	1,310,809	527	-271	49,030	27,513	4	108	223,277	159.6
5	1,310,743	-89	-7	49,198	27,552	6	247	217,872	147.9
6	1,309,993	-114	-243	49,641	27,560	3	430	334,174	160.5
7	1,309,272	-100	-168	48,939	27,665	3	162	263,587	160.7
8	1,308,552	-160	-184	49,379	27,681	3	215	229,076	150.1
9	1,307,723	-101	-210	P 49,258	P 28,098	4	453		
10	1,307,030		-296			8	491		
前月比 %	-0.1	-	-	-0.2	1.5	100.0	8.4	-13.1	-6.5
前年同月比%	-1.1	-	-	2.0	2.5	60.0	-62.9	0.0	-1.7
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		県統計分析課		

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数
 ※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※日銀券の年次計数は年度累計
 ※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2009 (H21)	90.3	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.56	0.32
2010 (H22)	100.0	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.67	0.40
2011 (H23)	95.8	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.80	0.50
2012 (H24)	104.7	5,578	3,286	1,844	582	208,618	55,074	0.96	0.64
2013 (H25)	106.4	6,461	4,193	1,958	632	197,238	60,716	1.14	0.78
2014 (H26)	106.9	5,469	3,387	1,721	575	169,394	58,023	1.16	0.81
2014 (H26) 7	112.3	557	306	213	56	21,139	6,910	1.12	0.80
8	101.5	462	308	113	52	14,906	6,938	1.11	0.80
9	109.3	550	363	161	58	22,415	12,546	1.10	0.80
10	107.5	527	347	156	55	14,557	3,564	1.11	0.79
11	102.0	565	272	251	54	13,640	2,727	1.16	0.82
12	109.5	516	258	208	48	5,603	1,923	1.25	0.85
2015 (H27) 1	109.0	320	116	133	28	5,463	817	1.18	0.84
2	106.5	245	96	116	25	6,527	816	1.15	0.83
3	111.7	300	200	74	33	8,874	3,641	1.16	0.81
4	108.3	582	403	151	64	19,556	5,357	1.31	0.87
5	108.6	447	306	116	49	10,789	3,536	1.36	0.94
6	105.4	523	353	138	57	17,456	7,541	1.31	0.93
7	106.4	608	368	180	64	21,592	7,718	1.20	0.94
8	P 107.0	459	296	133	49	17,562	6,120	1.32	0.95
9		693	392	249	71	17,298	8,906	1.33	0.96
前月比%	0.6	51.0	32.4	87.2	43.8	-1.5	45.5	0.01ポイント	0.01ポイント
前年同月比%	5.4	26.0	8.0	54.7	22.3	-22.8	-29.0	0.23ポイント	0.16ポイント
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による
 ※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー販売額(百万円)	新車登録台数(台)	乗用車登録届出台数(台)	消費者物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯家計消費支出額(青森市)(円)	雇用保険		青森県景気ウォッチャー調査(現状判断DI)	おおぎんBSI
						受給人員(人)	受給金額(百万円)		
2009(H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010(H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011(H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,439	-	-
2012(H24)	181,246	33,496	49,397	99.3	274,133	-	13,070	-	-
2013(H25)	179,920	31,442	49,982	99.6	267,928	-	12,291	-	-
2014(H26)	177,667	31,736	52,046	103.0	259,815	-	11,408	-	-
2014(H26) 7	14,638	3,195	4,573	104.0	247,510	8,598	1,023	45.7	-
8	16,226	1,878	2,730	103.8	278,121	7,895	836	-	-
9	13,450	2,941	4,627	104.0	219,929	7,288	788	-	-
10	13,856	2,395	3,625	103.9	243,461	6,719	792	43.9	-
11	14,465	2,375	3,836	103.2	234,406	6,116	636	-	-
12	18,323	1,662	3,980	103.2	285,101	6,807	711	-	-7.8
2015(H27) 1	14,553	2,150	3,374	103.3	272,977	11,045	1,717	39.8	-
2	13,005	2,545	3,984	102.5	240,985	9,131	1,217	-	-19.2
3	15,106	4,065	6,526	103.1	283,906	7,176	877	-	-
4	13,756	2,570	3,578	103.2	270,812	6,870	855	50.5	-
5	14,743	2,053	3,044	103.2	242,091	7,384	862	-	-2.2
6	13,942	2,556	3,735	103.1	211,436	7,583	848	-	-
7	14,111	3,034	4,056	103.4	237,365	7,550	888	53.3	-
8	15,437	1,958	2,767	103.4	267,869	7,559	807	-	-
9	P 12,845	2,913	4,244	103.7	224,094	7,020	814	-	5.1
前月(期)比%	-	48.8	53.4	0.2	-16.3	-7.1	0.9	2.8ホ イト	7.3ホ イト
前年同月(期)比%	0.0	-1.0	-8.3	-0.3	1.9	-3.7	3.3	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

※百貨店・スーパー販売額(2015.7 大型小売店販売額を名称変更)の前年同月比は既存店ベース増減率

※雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量(ト)	市場価格(円/Kg)	産地価格(円/Kg)	数量(ト)	金額(百万円)	輸出(百万円)	輸入(百万円)	輸出(百万円)	輸入(百万円)
2009(H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010(H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011(H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2012(H24)	274,892	263	164	112,395	18,670	6,785	29,059	107,146	122,288
2013(H25)	255,696	317	191	97,591	19,672	7,651	35,866	122,070	141,664
2014(H26)	296,117	319	180	120,530	22,969	7,733	34,824	132,609	177,830
2014(H26) 7	8,792	446	-	6,623	1,362	974	2,486	9,990	24,917
8	2,911	510	-	13,172	2,686	593	2,288	10,024	12,037
9	23,426	249	138	28,591	4,270	605	2,823	7,160	14,267
10	27,950	237	210	26,344	4,297	695	1,750	12,937	16,448
11	25,302	275	174	22,175	4,374	589	1,453	8,463	11,690
12	27,055	304	149	7,914	1,794	625	4,496	11,667	10,914
2015(H27) 1	36,964	287	156	2,169	736	593	2,258	14,281	19,335
2	37,926	286	182	1,816	648	337	2,890	9,245	9,440
3	37,801	295	205	3,020	1,041	548	1,463	11,700	11,901
4	31,672	334	292	1,180	485	558	2,651	8,238	19,151
5	21,934	403	-	797	228	611	1,868	12,407	12,624
6	13,480	447	-	2,839	748	589	3,130	11,812	14,205
7	9,465	521	-	10,640	1,409	746	914	10,388	16,376
8	2,490	523	-	9,654	1,986	488	1,518	12,935	14,644
9	26,192	258	156	16,410	3,010	400	1,117	8,953	31,328
前月比%	951.9	-50.7	-	70.0	51.6	-18.0	-26.4	-30.8	113.9
前年同月比%	11.8	3.6	13.0	-42.6	-29.5	-33.9	-60.4	25.0	119.6
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

※りんご年次欄はりんご年度の計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			バスポート 発行件数
	気温 (°C)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2014 (H26)	10.7	1,483.5	1,735.0	13,560
2014 (H26) 8	23.6	274.0	132.1	1,530
9	19.2	70.0	208.7	1,231
10	12.8	146.5	170.6	1,059
11	8.1	63.5	102.2	872
12	0.0	238.5	25.5	1,057
2015 (H27) 1	-0.2	133.5	43.0	1,395
2	1.2	45.0	96.4	971
3	4.6	56.5	141.0	1,273
4	9.9	81.0	189.8	858
5	15.1	69.5	255.0	883
6	18.1	57.5	208.0	982
7	22.8	65.0	179.3	1,075
8	23.6	72.0	184.6	1,501
9	19.4	65.0	153.4	1,036
前月比 %	-4.2°C	-7.0ml	31.2h	-31.0
前年同月比%	0.2°C	-5.0ml	-55.3h	-15.8
資料出所	気象庁			外務省

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2013 (H25)			
1~3月	-23.3	-5.3	-1.9
4~6月	-24.0	-23.1	-3.6
7~9月	-6.3	5.7	3.7
10~12月	18.6	7.5	24.1
2014 (H26)			
1~3月	9.8	5.7	6.3
4~6月	-13.6	-15.0	-10.5
7~9月	4.7	-24.2	-15.4
10~12月	5.4	-20.0	-10.2
2015 (H27)			
1~3月	-31.7	-7.3	-14.3
4~6月	-7.0	6.1	-3.2
7~9月	6.1	15.1	-2.5
10~12月	-13.4	0.0	-7.7
資料出所	青森銀行BSI('15.10~12月期は見直し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2014 (H26) 8	290,915	178,358	232,971	473	226	374	101	65	108
9	290,838	178,268	232,878	704	327	639	126	74	115
10	290,646	178,279	232,860	496	271	525	116	111	100
11	290,555	178,209	232,858	559	309	495	182	88	92
12	290,452	178,162	232,781	401	189	321	177	56	114
2015 (H27) 1	290,251	178,098	232,634	478	255	474	52	44	114
2	289,946	177,945	232,506	604	334	522	40	98	67
3	289,723	177,715	232,398	1,060	511	728	75	39	74
4	288,212	176,524	231,490	576	238	643	156	70	152
5	288,791	176,923	231,554	494	216	463	103	63	122
6	288,639	176,865	231,485	594	368	525	158	92	98
7	288,408	176,721	231,472	862	314	689	155	72	158
8	288,275	176,726	231,385	446	233	436	125	77	110
9	288,029	176,590	231,337	702	333	605	219	78	165
10	287,881	176,567	231,243						
前月比 %	-0.1	-0.0	-0.0	57.4	42.9	38.8	75.2	1.3	50.0
前年同月比%	-1.0	-1.0	-0.7	-0.3	1.8	-5.3	73.8	5.4	43.5
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産					
				青森市		弘前市		八戸市	
	青森	弘前	八戸	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2014 (H26) 8	0.80	0.60	0.89	1	150	0	0	2	175
9	0.79	0.77	0.97	1	25	3	330	0	0
10	0.78	0.79	0.98	0	0	1	57	2	1,200
11	0.77	0.69	0.97	2	40	0	0	1	450
12	0.64	0.54	0.83	1	34	1	11	1	14
2015 (H27) 1	0.59	0.48	0.76	4	637	0	0	0	0
2	0.76	0.58	0.83	3	1,833	0	0	0	0
3	0.82	0.64	0.86	1	821	1	250	1	300
4	0.78	0.62	0.81	1	37	1	45	1	16
5	0.85	0.63	0.81	4	144	0	0	1	43
6	0.89	0.61	0.85	0	0	0	0	0	0
7	0.93	0.60	0.90	1	26	0	0	0	0
8	0.97	0.74	1.00	0	0	1	85	1	100
9	1.06	0.88	1.07	1	43	0	0	1	148
10				3	193	2	200	1	28
前月比 %	0.09 ポイント	0.14 ポイント	0.07 ポイント	200.0	348.8	-	-	0.0	-81.1
前年同月比%	0.27 ポイント	0.11 ポイント	0.10 ポイント	-	-	100.0	250.9	-50.0	-97.7
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店					

※有効求人倍率は原数値による